

新寝屋川八景を訪ねる散策コース

みどりの道コース

身近なみどりに触れながら

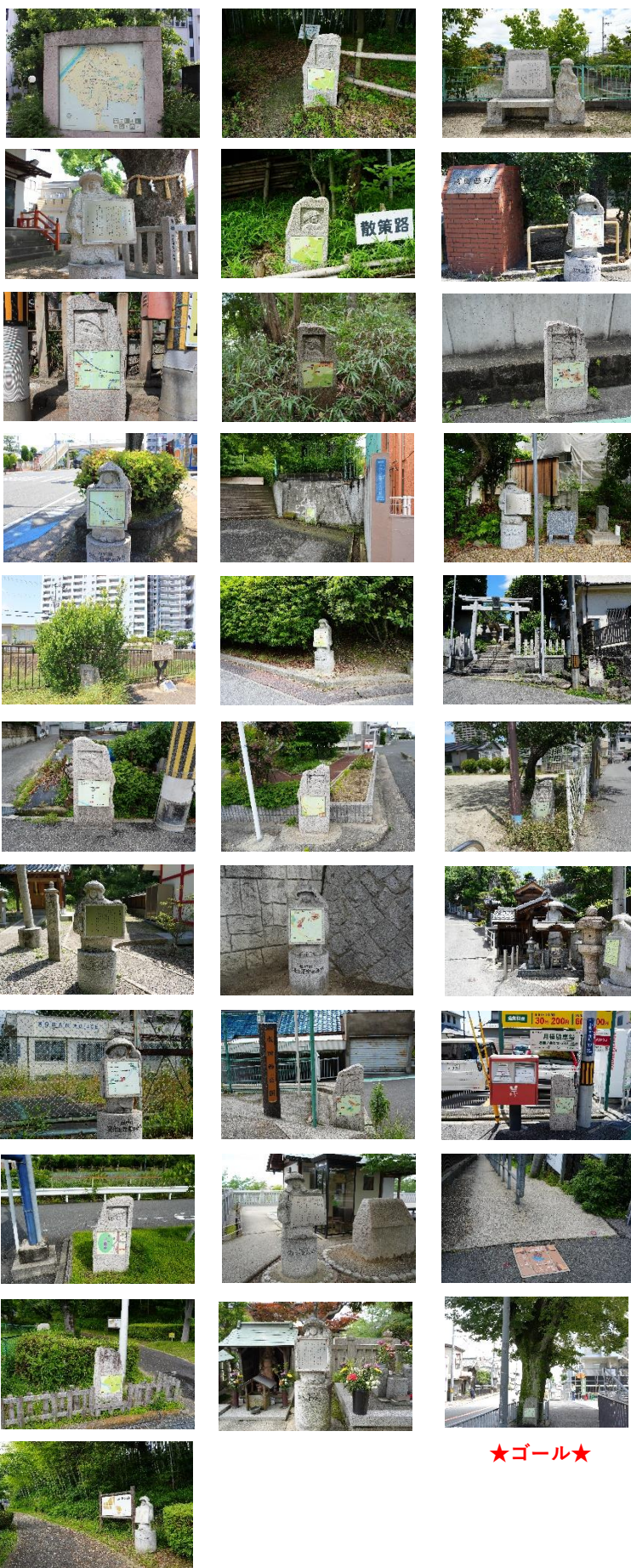
香りの丘成田山不動尊へ



成田山不動尊

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン(説明や地図板のついた石像)があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
(右側のQRコードからアクセスできます)



※QRコードは駒デンソーウェアの登録商標です。

1 八坂神社 やさかじんじゃ

八坂神社の創建を伝える資料は確認されていませんが、明治時代以前、牛頭(ごず)天王社や祇園社などと呼ばれていました。境内には市の保存樹であるクスノキが15本あります。最も大きなもので高さ15m・幹回りは4.83mを測り、樹齢約650年と推定されています。



2 幸町公園 さいわいちょうこうえん

平成21年4月にオープンした親水公園です。警官住宅の建替および整備工事に伴って、幸町の寝屋川右岸に建設されました。人工のわんどやみんなの広場、緑の広場が設けられ、サクラ・イチヨウ・モミジが植樹されています。



3 寝屋川の起点 ねやがわのきてん

市の名前となっている寝屋川の起点は、交野市星田から流れるタチ川(傍示川)と市の北東にある香里丘陵から流れる北谷川が合流する寝屋の集落の西側です。ここから香里丘陵と南側の秦・太秦の丘陵の間を流れ、平野に出てからは本市のほぼ中央を南流します。さらに大東市住道で南から流れてきた恩智川と合流し、ここから河内平野中央部を西に流れて大阪城の北側の天満橋付近で大川(旧淀川)に合流します。全長約21kmのうち8kmが市内を流れています。



4 公園墓地 こうえんぼち

竹林や樹林に囲まれ、整備された墓地公園で、管理事務所隣には、鯉が泳ぐ池を有した庭園があります。春には桜が咲き誇り、秋には紅葉が美しく、四季を通してその景観を楽しめます。



5 成田公園 なりたこうえん

南前川の水源となる、成田の三ツ池の自然を残して整備された公園です。三ツ池には、冬になるとカモなどの水鳥が飛来します。北側には人工のせせらぎが造られて、水遊びができます。また、南側には健康遊具などが設置され子どもからお年寄りまで、市民のみなさんに親しまれている公園です。



6 成田山不動尊 なりたさんぶどうそん 新寝屋川八景

千葉県成田山新勝寺の大阪別院として、昭和9年(1934)に建立された真言宗智山派の寺院です。不動明王(不動尊)を本尊として商都大阪の鬼門にあたる位置に建てられました。交通安全をはじめ、開運厄除・繁盛隆昌などの祈願道場として、多くの人々が参詣します。境内には、関西お笑い芸人の供養に建てられた笑魂塚などがあります。2月の節分に開催される豆まきは、毎年芸能人等が参加して賑やかに行われます。平成21年に制定した新寝屋川八景にも選ばれています。



7 四方黒池 よもぐろいけ

成田山の東側の住宅地の中にある四方黒池は、西側の三井地区の田畑のかんがい用のため池でした。昭和40年代以降、周辺の開発が進んで付近は住宅地となり、池には周辺から雨水などが大量に流れ込むようになりました。昭和61年に親水公園として整備が行われ、さらに平成3年には水質浄化のためさく泉が掘られ、池は周辺住民の憩いの場として生まれ変わりました。



8 香里ヌヴェール学院 (聖母女学院校舎)

聖母女学院は大正12年(1923)に大阪市内に開校し、昭和7年(1932)にこの地に移転しました。校門を入って正面の玄関から廊下で結ばれる「E」字形の鉄筋コンクリート造の校舎は、移転時に建設されたものです。設計は「日本の現代建築の父」と呼ばれる著名な建築家のアントニン・レーモンド(1888~1976)によるもので、現存する数少ない彼の作品の一つとして、平成9年に国登録有形文化財(建造物)となりました。



※見学については要問合わせ

9 友呂岐神社 ともろぎじんじゃ

友呂岐神社は、もと八幡神社と呼ばれ、郡地区の氏神でした。しかし、明治時代に三井の氏神社、太間の菅原神社、田井の二本松神社など旧友呂岐村の神社が合祀され、その時に神社名が現在のように変更されました。旧三井村の正月行事の「お弓行事」は、旧三井氏神社地に隣接する美井自治会館前の広場で、その年に二十歳を迎える男子2人が合計12本の矢を的に向って射るもので、その結果によって天候や豊凶を占います。旧三井村の氏神社が友呂岐神社に合祀されたため、現在は友呂岐神社でお祓い等の神事を行っています。平成19年に市指定無形民俗文化財に指定されました。



お弓行事

ちょっと一息…

魔除けの為、入口などに置かれ、神社を守っている一対の動物の像。角がない獅子と、角がある狛犬が対置されることが多いそうです。しかし、友呂岐神社本殿前の石像はどちらも角がありません。両方とも獅子でしょうか!?



◆ 本殿前の狛犬 ◆

10 湯屋が谷の弘法井戸 ゆやがたにのこうぼういど

香里園駅東側の丘陵崖面下にある共同井戸で、地元では「やがたんの井戸」とも呼ばれています。かつては、飲料水や日用水として用いられ、井戸の前の石敷は共同洗い場として使われていたそうで、ここで井戸端会議を行う様子が思い起されます。



※掲載内容は、2024年12月時点のものです。

新寝屋川八景を巡る散策コース みどりの道コース

市名にもなっている「寝屋川」の起点を通り、公園墓地へ。故人への鎮魂と市民の憩いの場をつなぐ広大な聖域は静かに心を癒す場所です。そこから丘をひとつ越えて香りの丘へ。頂上には成田山不動尊が鎮座します。みどりに触れ、神仏を想い、心が洗われる散策コースです。

■距離：約 8 km ■所要時間：約 3 時間

スタート：京阪寝屋川市駅（東口）

➤ 0.4km / 7分 ※距離・所要時間は目安です。

1 八坂神社

➤ 0.8km / 14分

2 幸町公園

➤ 2.4km / 40分 ★休憩 ベンチあり

3 寝屋川の起点

➤ 0.3km / 5分

4 公園墓地

➤ 1.8km / 30分 ★休憩 ベンチ・WCあり

5 成田公園

➤ 0.7km / 12分 ★休憩 ベンチ・WCあり

6 成田山不動尊

➤ 0.4km / 7分 ★休憩 ベンチ・WCあり

7 四方黒池

➤ 0.6km / 10分 ★休憩 ベンチあり

8 聖母女学院校舎 ◆国登録有形文化財(建造物)

➤ 0.08km / 1分 ◆国登録有形文化財

9 友呂岐神社(お弓行事)◆市指定無形民俗文化財

➤ 0.3km / 5分

10 湯屋が谷の弘法井戸

➤ 0.5km / 9分

ゴール：京阪香里園駅（東口）

スタート
京阪寝屋川市駅

★印の場所には、
鉢かづき姫をモチーフ
にしたルートサインが
あります。

大きな楠の根本にある
ルートサイン

階段をあがる

神社の石段を下りる

公園内の階段を上る

階段を下る

～階段上の路面にもルートサインあります～

～郵便ポストの横にもルートサインあります～

ここでルート
が分かります。
お好きな方へ
どうぞ♪

水路横 コンビニ駐車場角
～ここにもルートサインあります～

～ここにもルートサインあります～

発行：寝屋川市文化スポーツ室